

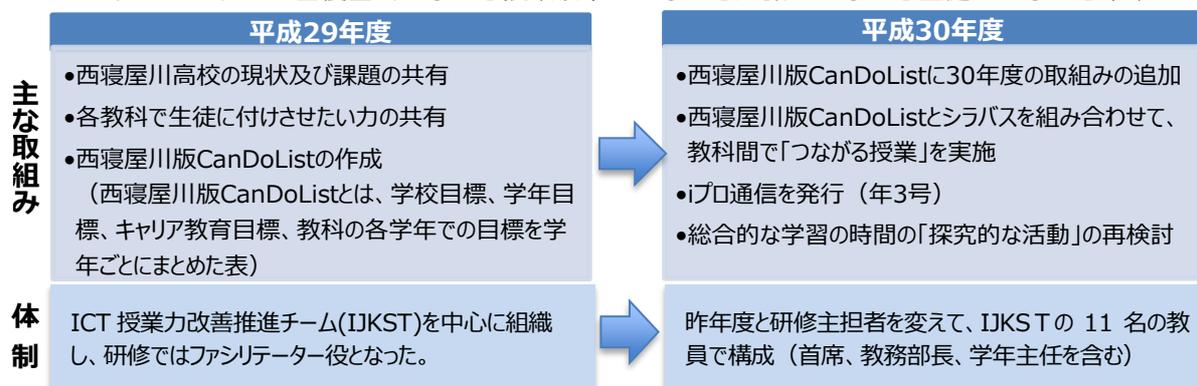
## 府立西寝屋川高等学校の取組み

### (1) 学校教育目標（めざす生徒像）

- 基礎学力の充実で、確かな学力を身に付け、各自の将来の可能性を広げる。
- キャリア教育を計画的に実施し、自らの目標を、自ら切り開くことができる、社会の中でたくましく生きる力を付ける。
- 学校生活の充実、活性化により、集団における規範意識、社会性を身に付け、より良い社会の構成員をめざす。

### (2) 主な取組みと組織体制の準備

- テーマ…チーム西寝屋川つながる授業改革～つながる知識・つながる生徒・つながる未来～



### (3) 主な実践とその工夫

#### ① つながる授業改革を全教員で

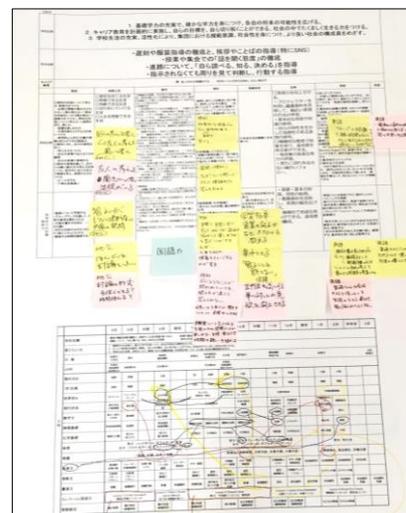
平成29年度に作成した西寝屋川版 CanDoList に、今年度は9月の進捗状況、2月に到達状況を記入をして完成させました。資料作成だけにとどめず、西寝屋川版 CanDoList を次年度に向けた目標設定と授業改善に活用しています。

また、西寝屋川版 CanDoList とシラバスを組み合わせ、開講している全科目との関係性を可視化することで、他の教科で学んだことを教員が自らの担当教科に活用し（知識活用）、さらに教科横断的な視点を取り入れて授業を構想できるようになり、生徒の複眼的なものの考え方の育成に役立つように工夫しています。

例えば、英語と家庭科の教科では、英語の授業に家庭科の教科書の写真を見せることで、生徒の関心が高まり、さらに内容を深く理解できました。また、「服」や英語の内容の理解だけにとどまらず、「女性の社会進出について」も考えが広がっていきました。

\* 学校教育自己診断（生徒）「授業がわかりやすくて楽しい」58.2%（H29）→63.4%（H30）

校内の実践事例や研修報告などを載せた「iプロ通信」を発刊して、教員に配付しています。通信の中には、校内で実施しているものだけでなく、教育センターで実施している研修や他校で実施している研修報告を掲載しています。校外研修を受講した教員による研修成果も多岐にわたり報告されており、個々の教員の学びを全員のものとするように工夫されています。

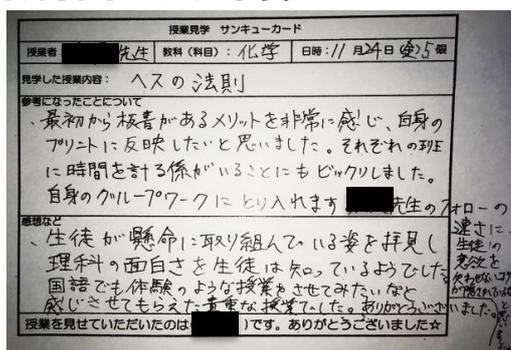


西寝屋川版 CanDoList とシラバス

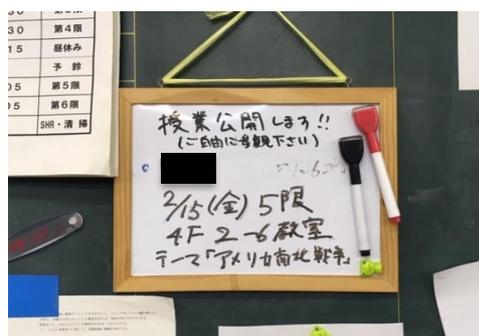
## ② 生きた研究授業・授業見学

独自の授業観察シート「サンキューカード」を使って相互見学による授業を行っています。サンキューカードには、参考になったことや感想などを記入してもらいます。使用上のルールとして、「批判するのではなく、良いところを書く」ことを共有しています。サンキューカードに書いてもらった良いところにより、授業者は「また授業を公開しよう」と思うことができ、「より工夫した授業をしよう」と思えます。さらに、サンキューカードに書かれたことを「iプロ通信」に載せることで、他の教員の授業への関心を高めることができます。

また、自主的な授業公開を促進するために、職員室の掲示板に、「授業を公開します！！」ホワイトボードを設置しています。授業公開を希望する教員が日時と内容を書くことで、より多くの教員に参観してもらえるようにしています。



サンキューカード



授業公開します!! ホワイトボード

経験年数の少ない教員が、研究授業の後もさらなる授業改善をめざして、自発的に授業改善に取り組む姿が見られています。このような姿は、周りの教員へもよい刺激となっており、授業改革が大きくなりとなって学校全体に広がっています。

## ③ 「総合的な学習の時間」に探究的活動

1年次「総合的な学習の時間」では、2学期から「調べ学習」を実施しています。新学習指導要領では「総合的な探究の時間」へと名称変更され、今後探究的な活動は各高校にとって重要性が増すことが予想されます。生徒たちがこれから進む様々な進路や社会では、①多くの情報から必要な情報を取り出すこと、②根拠をもって説明が出来るようになること、③そしてそれを他者にわかりやすく表現できること、といった力が必要になります。



探究的なグループ活動

こうした力を生徒に付けることを目的として、総合的な学習の時間の中で探究的な活動をどのように行っていくかを再検討しました。活動後の生徒の満足度は非常に高く、さらに課題を見つけて次の学びに向かう探究する学習活動につながっています。

* 探究的な活動をした生徒アンケート項目の結果	肯定率
探究的な活動を通して、実験・調査したことに興味関心をもつことができたと感じる。	82%
授業を受けて、実験・調査に関する知識や技能が身に付いたと感じる。	91%
これからも探究的な活動をやっていきたいと思う。	82%